

## II 参考資料

### 1 主な死因の死亡数、粗死亡率、年齢調整死亡率の推移（沖縄県、全国）

沖縄県が日本に復帰した1973年から2019年までの本県の死亡の動向について、主な死因の死亡数、粗死亡率、年齢調整死亡率の年次推移を示しました。

年齢調整死亡率については、本県の20～64歳のいわゆる働き盛り世代の死亡率が全国より高いことから、「20～64歳の年齢調整死亡率」も算出しています。

#### (1) 粗死亡率の算出方法

死因別に死亡数を人口で除した値で求められます。なお、地域や年次間の年齢構成に差がある場合は、高齢者の多い地域や年次では高くなり、若年者の多い地域や年次では低くなる傾向があります。

$$\text{粗死亡率} = \frac{\text{各年の死因別死亡数}}{\text{各年10月1日現在日本人人口}} \times 100,000$$

(人口10万対)

#### (2) 年齢調整死亡率

年齢構成の異なる地域間や年次間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整しそらえた死亡率が年齢調整死亡率です。この年齢調整死亡率を用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正確に地域比較や年次比較をすることができます。

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\left( \text{観察集団の年齢5歳階級別死亡率} \times \text{基準人口の当該年齢階級別人口} \right) \text{の各年齢階級の総和}}{\text{基準人口*の総数}} \times 100,000$$

(人口10万対)

\*基準人口は、2020年（令和2年）より「平成27年モデル人口」を使用し、2005年（平成17年）以降の15年分を算出した。令和4年度以降に1980年（昭和55年）～2004年（平成16年）まで遡及し、平成27年モデル人口を使った年齢調整死亡率を算出する予定。

【参考】基準人口の改定に向けた検討会 [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_07161.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_07161.html)

#### (3) 資料

##### ア 人口

- ・2020年（令和2年）：「令和2年国勢調査に関する不詳補完結果（参考表）」  
都道府県別年齢調整死亡率 参考表 年齢階級・性別人口

※各年の性・年齢階級別人口は、内挿法により推計

##### イ 死因別死亡数

- ・人口動態調査 保管統計表 都道府県編 死亡・死因（死因簡単分類） 第2表（00 全国、47 沖縄県）

集計した死因の分類の対照表は、5ページ。